



**拡散する（バズる）文章をスラスラと書ける10個の秘訣  
（こんなに簡単なの？）**

矢野昭二



拡散する（バズる）文章をスラスラと書ける10個の秘訣  
（こんなに簡単なの？）

・著作権について

本冊子並びに本冊子の表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は発行者にあります。

本冊子の使用に関して、以下の点を十分ご留意ください。

・使用承諾に関する契約

本契約は、本冊子を持つ個人・法人（以下甲）と発行者（以下乙）との間での契約です。

本冊子を甲が受理し開封したことにより、以下の契約に同意したことになります。

第一条 本契約の目的

乙が本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲がしようする権利を承諾するものです。ただし、使用は非独占的なものに限られます。

第二条 禁止事項

本冊子に含まれる一切の情報は、著作権法によって保護されます。本冊子に含まれる情報を、甲は乙の書面による事前許可なくして出版・講演活動およびメディア配信などによって一般公開することを禁じます。また、電子メディアによる配信等によって一般公開することを禁じています。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は自らの所属する会社や組織においてのみ、本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第三条 損害賠償

甲が本契約の二条に反し、乙に損害が生じた場合には、乙は甲に対し違約金を請求する権利を有するものとします。

第四条 契約の解除

甲が本契約に反したと乙が判断した場合は、乙は使用承諾に関する契約を解除することができるものとします。

第五条 免責事項

本冊子に含まれる情報の使用責任の一切は甲にあり、この情報により甲に損害が生じても、乙は一切の責任を問われません。

拡散する (バズる) 文章をスラスラと書ける 10 個の秘訣  
(こんなに簡単なの?)

この度は、  
私の無料レポートをダウンロードして頂き、本当に感謝です♪

自己紹介から簡単にさせていただきます。私の名前は「矢野昭二」です。

私は、インターネットビジネスを始めて3年目になります。

ブログアフィリエイト・サイトアフィリエイト・フェースブックアフィリエイトなど、多くのジャンルのアフィリエイトを経験してきました。

高額塾にも入塾して、そこでいろんなことを学んできました

そして、  
稼げるまでには、時間もかかり、寄り道もいっぱいしてきました。

でも、今では  
毎月、安定した収入をネットビジネスだけで得られるようになりました

新しくアフィリエイトをされる方や稼げなくて悩んでおられる方に  
わたしのよう、迷ったり、時間をかけずに最短距離で稼げることが出来るようにと、このレポートを作成いたしました。

もっと詳しいプロフィールは下記URLでも確認できますので

少しでも興味を持たれた方はコチラからご覧いただきたいと思います。

<http://navi-info.org/profiel>

## 目次

はじめに.....	4
1. 一文を短くする.....	5
2. 結論を最初に.....	6
3. 主語と述語を近づけましょう.....	7
4. あいまい表現を避けましょう.....	8
5. 受け身表現を避けましょう.....	9
6. 句読点をうまく使いましょう.....	10
7. 接続詞の使用は少なめに.....	11
8. ひらがなを多く使うようにしましょう。.....	12
9. カタカナを効果的に使いましょう.....	13
10. クドい文末は短くスッキリと.....	14

## はじめに

分かりやすい文章を書くということは、  
読者に有益な情報を伝えるのに欠かせないことです。

ファンになってもらったり、読者の方から、他の人達にその情報を拡散してもらう為にも大事なことです。

文章には書き手のクセが出ます。

自分のクセに気付き、クセに捕われずに読者が読みやすい文章を書くことを心がけましょう。

わかりやすい文章を書くための、10のポイントについて解説していきます。

## 1. 一文を短くする

一文が長い（句点のない）文章は、読み手の思考に切れ間を与えないので、ストレスになります。

特に「が」は、文を転回させるのに便利で、安易に使いがちなので要注意です。

話し言葉でも、「～が、～で、～が、～が」と一文を長く話す人よりも、「～です。～ました。～でした。」と短く言い切りながら話す人から、より強い説得力を感じるものです。

文章をひとつおき書いたあとで、なるべく句点（。）を入れられないか検討してみましょう。

## 2.結論を最初に

結論を最初に示すのが鉄則です。読み手に伝えたい結論を最初に書きましょう。

「結論 → 理由」という文の流れを意識してみましょう。

結論を最初に書こうと意識すると、文章全体がわかりやすくなるだけでなく、ななめ読みや拾い読みがしやすくなります。

### 3.主語と述語を近づけましょう

論旨を支えるのは主語と述語です。これらふたつの間にある文章が長いと、論旨がぼんやりとしてしまいます。

主語と述語以外は、まとめて冒頭に置いたり、別の文にしていきましょう。



## 4.あいまい表現を避けましょう

あいまいな表現が多い文章からは、歯切れのよさやリズムが感じられません。

説得力も弱くなってしまいうので文章をうまく伝えられません。

迂回した表現や「思います」はなるべく使わず、読者を迷わせる表現は避けるのが賢明です。

「など」の多用も気をつけましょう。

## 5.受け身表現を避けましょう

受動態を能動態に変えることで、論旨が読み手にはっきりと伝わるようになります。そして、読み手にストレスを感じさせません。

## 6.句読点をうまく使いましょう

読点（、）は「息つぎ」の位置に入れるのが自然です。読点は息つぎが必要な場所だけ、と意識して使うようにしましょう。

句点（。）については、文章の終わりを示すので、必ず、使うようにしましょう。

## 7. 接続詞の使用は少なめに

接続詞をあまり頻繁に用いると、なんとなく文がダラダラとつづいている感じを受けます。

接続詞をなるべく使わないようにすると、文章全体がすっきりします。

文の途中で出てくる「および」や「または」は、「と」「や」「、」でつないであげるとスマートな文章になります。

## 8. ひらがなを多く使うようにしましょう。

漢字が多すぎる文章からは、仰々（ぎょうぎょう）しさ、かた苦しさを感じます。

読者からすれば、気軽に読める感じがしないので、敬遠されがちです。

同じ文章でも、ひらがなにすることによって、随分、読みやすくなるものです。

## 9.カタカナを効果的に使いましょう

日本語の文章はひらがなが多いため、音を表す言葉、動作や状態を表す言葉や食材をカタカナにすると、目に止まりやすくなり、文章全体が躍動的になります。

ほかにも、「コツ」「ブレ」「ヘン（変）」「ワケ（訳）」などにカタカナを使うと、独特のニュアンスが伝えられます。

## 10. クドい文末は短くスッキリと

文末は短くすっきりとしていたほうが、読んでいて気持ちがよいものです。

特に「～できます」という表現は、もっとスッキリとなります。

たとえば「いただくことができます → いただけます」というように短く出来ますよ。

やや過剰な敬語は、文末が長くなるので次の文にスムーズに入りづらい、というデメリットがあります。

拡散する（バズる）文章をスラスラと書ける10個の秘訣  
（こんなに簡単なの？）

最後まで読んで頂き、誠にありがとうございました。

### 【矢野昭二のブログ情報】

ネットビジネスで本当に稼ぐことは出来るの！？

【6ヶ月で月30万円を稼ぐ手法を伝授します】

<http://navi-info.org/>

↓矢野昭二のプロフィールはコチラ↓

<http://navi-info.org/profiel>

### 【矢野昭二のメルマガ情報】

※メルぞうより無料でダウンロードされた方は  
自動的にメルマガへ代理登録されます

**発行者名：** 矢野昭二

**連絡先：** [ashiyaproject@gmail.com](mailto:ashiyaproject@gmail.com)

**メルマガタイトル：** ノウハウコレクターが実際に月30万円稼ぐ秘訣とは！？

**メルマガの登録解除URL：** <http://mail.os7.biz/m/bSpF>





**拡散する（バズる）文章をスラスラと書ける10個の秘訣**

**（こんなに簡単なの？）**

**<http://navi-info.org/>**

Copyright (C) 矢野昭二 All Rights Reserved.